

萩博物館特別展

藤田伝三郎翁生誕170年記念

萩の産業人脈 日本の近代を拓いた



ダットサン12型フェートン
(日産自動車株式会社蔵)

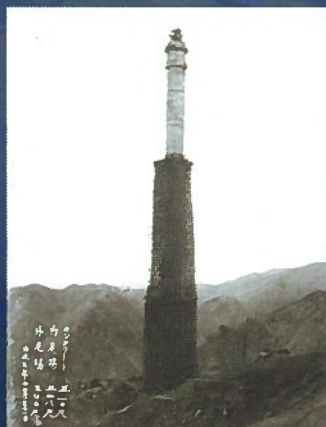
— 藤田伝三郎とその時代 —

2011.

2012.

12.1 > 4.10

萩博物館



日立釜山大煙突
(JX日鉱日石金属株式会社提供)



トロール漁船湊丸
(日本水産株式会社提供)



小坂釜山事務所
(小坂町総合博物館郷土館提供)
上部背景写真 児島湾干拓地
(岡山市第二藤田学区連合町内会提供)

藤田伝三郎

(DOWAホールディングス株式会社提供)

田村市郎

(日本水産株式会社提供)

鮎川義介

(日産自動車株式会社提供)

久原房之助

(JX日鉱日石金属株式会社提供)

■後援: KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、萩ケーブルネットワーク株式会社
■協賛: JX日鉱日石金属株式会社、株式会社損害保険ジャパン、DOWAホールディングス株式会社、日産自動車株式会社、日本水産株式会社、日立金属株式会社九州工場株式会社日立製作所並戸事業所、藤田観光株式会社 (50音順)
■協力: 萩田具小坂町、石見銀山資料館、大坂商工会議所、岡山県立興徳高等学校、岡山市第二藤田学区連合町内会、岡山市南区藤田地域センター、香雪之会、国立国会図書館憲政資料室、春光懇話会、日鉱記念館、日本女子大学成瀬記念館、藤田神社、藤田美術館、山口県文書館 (50音順)

萩博物館特別展

藤田伝三郎翁生誕170年記念

日本の近代を拓いた 萩の産業人脈

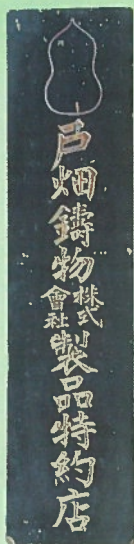
— 藤田伝三郎とその時代 —

関西財界のリーダー藤田伝三郎を源流とする、久原房之助（伝三郎の甥）・田村市郎（伝三郎の甥）・鮎川義介（房之助の義兄）ら萩ゆかりの実業家たち。彼らは、明治維新以降、近代化の潮流の中で日本の産業を切り拓き、自動車・鉄道車両・金属・水産・観光など現在の日本を代表する企業の基礎を築いた。彼らの夢と情熱をかけた挑戦の軌跡を追う。



久原房之助揮毫「富嶽図」（萩博物館蔵）

久原房之助が描いた富士の絵。房之助には、南画の心得があった。



大森鋳山法被（石見銀山資料館蔵）

明治40年（1907）東宮殿下（大正天皇）の山陰行啓時に作られた法被。

戸畑鑄物株式会社製品特約店看板

（日立金属株式会社九州工場鑄物記念館蔵）

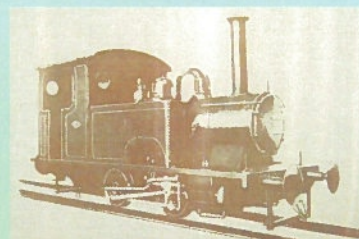
鑄物肌のなめらかさを象徴した「ひょうたん」印は、品質を保証する戸畑鑄物の商標。



ダットサン14型ロードスター

（日産自動車株式会社蔵）

日産自動車株式会社となって、昭和10年（1935）最初に製造された乗用車。



第1号機関車（大正9年9月）

佐世保海軍工廠納12t日タンク機関車



笠戸造船所第1号機関車銘板

（株式会社日立製作所笠戸事業所蔵）

大正9年（1920）佐世保海軍工廠に納入された機関車の銘板。



康楽館模型（小坂鋳山事務所蔵）

明治43年（1910）藤田組によって建てられた現役最古の木造芝居小屋。

会 期／平成23年12月1日（木）～平成24年4月10日（火）

開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休 館 日／なし（年中無休）

駐 車 場／有料 普通自動車（軽自動車を含む）66台（1回300円）
大型自動車（マイクロバスを含む）8台（1回1,000円）

※ただし萩市民は無料

観 覧 料／大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

〔団体割引〕20名以上20% 〔障がい者割引〕20%

交通アクセス

◎JR東萩駅よりタクシー10分／徒歩30分

◎JR新山口駅よりバス70分（萩バスセンター下車、徒歩20分）

◎萩・石見空港よりバス75分（萩バスセンター下車、徒歩20分）

◎萩バスセンターよりまあるバス

西回り10分「萩博物館前」下車すぐ

◎中国自動車道美祿東JCT→小郡萩道路絵堂ICより25分

◎山陽自動車道防府東ICより70分

ギャラリートーク 参加費：無料（ただし、観覧料は必要）

平成23年12月3日（土）、平成24年1月7日（土）、2月4日（土）、

3月3日（土）、4月7日（土） いずれも午後2時～3時

展示を担当した職員が解説します。開始時間の5分前に企画展示室入り口にお集まりください。

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地

TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142

URL <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/> E-mail muse@city.hagi.lg.jp

